

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立焼野小

学校

児童数

53

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.50	22.63	37.34	44.81	48.41	9.12	147.44	17.72	54.75
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.62	21.24	40.05	40.05	35.62	9.46	146.14	14.10	56.57
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点は、男女ともに全国平均を上回った。種目で見ると、特に上体起こし・長座体前屈・反復横とびは全国平均を大きく上回った。一方、男子の握力・ソフトボール投げ・立ち幅とび、女子の握力・20mシャトルランは全国平均を下回った。

質問調査では、「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において、男子は肯定的回答の割合が全国平均を上回ったが、女子は若干下回り、「嫌い」と答えている児童の割合が14.3%と、全国平均より高い傾向がみられた。1週間の総運動時間について、男子では「0分」と回答している割合が9.4%みられたが、「60分以上」「420分以上」と回答している割合は、ほぼ全国平均並みであった。女子では「60分以上」「420分以上」と回答している割合は、合わせて95.1%と、全国平均より特段に高くなっていた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、体力テストに向けて、50m走、ソフトボール投げ、反復横とび、20mシャトルランの事前練習会を行った。それにより、体の動かし方を理解したり、運動の機会が増えたりしたことで今回の結果につながったと考える。また、2学期に全校で取組んだ「なわとび週間」では、休み時間に縦割り班での大縄跳びの練習や、なわとび検定会を行い、児童の体力づくりへの関心を高める一助となった。3学期の「かけ足週間」では、はげみ表を配付し、目標をもたせることで、児童の運動意欲を高めることができた。なわとびやかけ足は、休み時間に自主的に取組む児童の姿も見られた。さらに、サッカーチームによるトップアスリート事業を通して、運動を楽しく、かつ上手になるコツや、目標をもつ大切さを学ぶことができた。

今後は、運動時間を十分に確保するとともに「できる」「わかる」「たのしい」体育科の授業づくりを推進していくことと同時に、「なわとび週間」や「かけ足週間」といった体力づくりの取組みが両輪で機能することで、運動経験の増加や、運動への意欲向上を図りたい。また、シナプソロジーや姿勢体操を活用することで、運動の素地を養っていきたい。